

大相撲名古屋場所における当院柔道整復師の救護 支援活動の現状について

米田病院
児山将之 羽生 優 西條嘉人
米田 實

【はじめに】

当院では毎年大相撲名古屋場所に職員の柔道整復師2名を派遣し、テーピング・RICEなどの応急手当や医療機関への搬送支援などを中心とした救護支援活動を行っている。この活動は約40年前から現在まで当院の柔道整復師によって継続されてきた。近年、来室者数は急増しており、救護活動の需要が高まっている。今回活動内容の現状についてまとめたので報告する。

【柔道整復師の業務範囲】

骨折、脱臼、打撲、捻挫の患部に施術をできるが、医師の同意を得た場合のほか、脱臼又は骨折の患部に施術をしてはならない。ただし、応急手当をする場合には、この限りではない(柔道整復師法第17条)。

【大相撲名古屋場所応急対応の人的資源】

当院の医療体制は柔道整復師2名、活動内容は応急手当や医療機関搬送への支援、場所は控え室内の一角にカーテンで仕切った一室を使用、待機時間は午前8時30分から18時30分、初日から千秋楽まで毎日である。

他の医療支援体制として、某名古屋場所後援新聞社直営病院から看護師2名、活動内容は創傷などの応急処置や内科的対応、場所は控え室出入口付近の一室を使用、待機時間は1日3～4時間程度で不定期である。

【調査対象】

平成17年から平成20年の4年間で、取り組み初日から千秋楽までの合計60日間に我々当院の柔道整復師が待機する救護室に来室した力士延べ1,276名を、施術を受けた1,009名と擦過創や腹痛など施術対象外であった267名に分類し調査を行った。

【調査内容】

- ①件数の推移について：来室者数の内訳として施術対象者、施術対象外者、平均人数
- ②施術内容について：施術の種類、緊急時の対応
- ③傷害部位について：頻度の高い傷害部位

【結 果】

①件数の推移

平成17年には750名の力士が出場し、合計236名が来室した。平成20年には729名の力士が出場し、合計433名が来室した。なお、この調査には一場

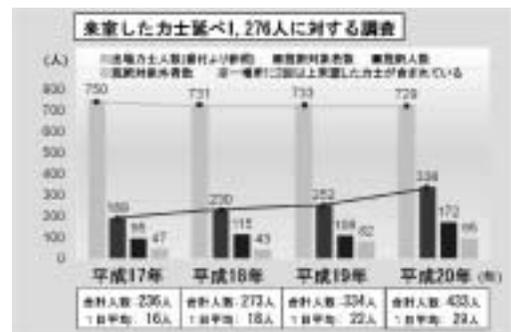


図1

